

第3号議案【平成30年度事業計画(案)】

とうほく自動車産業集積連携会議 平成30年度事業計画(案)

「とうほく」は、コンパクトカーをはじめとする環境対応自動車など、世界に発信できる自動車の生産・開発拠点の形成を目指し、次の事業を実施する。

戦略Ⅰ 幅広い分野の企業集積

自動車関連企業の進出・地域定着と地場企業の参入を進め、幅広い分野の関連企業の集積を促進。

① 関連企業の進出促進

- 研究開発機能や高機能部品等の誘致に向け、自動車メーカー等への各県知事によるトップセールスを実施
- 当連携会議や東北の自動車産業集積に向けた取組を対外的にPR
 - ・ 当連携会議リーフレットや東北企業マップ等を活用し、商談会等の場において、東北の取組や企業集積の状況について対外PRを強化

② 地場企業の参入促進

- 東北の地場企業の技術力を自動車メーカー・グループ等に対してアピールする商談機会等の提供
 - ・ とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会 in デンソーの開催
時期：平成30年9月19日(水)～20日(木)
場所：(株)デンソー 本社5号館イベントホール(愛知県刈谷市)
 - ・ とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会の開催
時期：平成31年2月7日(木)～8日(金)
場所：刈谷市産業振興センター あいおいホール(愛知県刈谷市)
- 当連携会議及び各県協議会のホームページ等を通じ、東北の自動車産業集積に向けた取組、セミナー等各種事業に関する情報を発信
- 域内の企業等を対象とした研修の開催

③ 企業間交流・連携の促進

- 北海道自動車産業集積促進協議会との相互交流、事業連携を促進
- 総会・講演会の開催
時期：平成30年7月9日(月)
場所：福島県福島市 ザ・セレクトン福島
- 企業見学・企業の情報交換など企業間連携を図る機会の創出
- 商談会・交流会等を通じ、地域内企業同士の交流・連携の促進
- 域外の機関が主催するイベント等への協力及び情報提供

戦略Ⅱ 競争力のある生産拠点

設計開発機能の強化や生産技術力高度化・生産準備力強化などを推進し、競争力のある車両・部品の生産を促進。

① 設計開発機能の強化

- 自動車部品等への理解促進を目的としたセミナー・勉強会等の開催及び各県協議会等が開催する各種セミナー等への相互参加を促進

② 生産技術力・準備力の強化

- 各県の自動車関連アドバイザーや産業支援機関等による東北域内企業の掘り起し、商談会後の取引に向けたフォローアップなどの取組を広域的に推進

③ 生産体制の強化

- IoTやAIをテーマとするセミナー等の開催及び相互参加

④ 提案力の強化

- 各県アドバイザー等による助言及び商談会へ向けた研修会の実施

戦略Ⅲ 次世代技術の開発拠点

広域的に産学官が連携し、EVやFCVなどの環境対応車や自動運転車といった次世代を担う自動車に求められる技術の研究開発を促進するとともに、製品化・実用化を意識した取組を推進。

① 次世代自動車の生産を支える技術の開発

- 各県が推進する次世代自動車関連のプロジェクトの相互連携を図り、東北進出メーカー・地域企業・大学等との共同研究を促進

② 研究開発の実用化

- とうほく・北海道ショーケースカープロジェクトのレベルアップ（参画企業数の増加、技術紹介の強化）により、地域企業が持つ部品製造のポテンシャルを強くアピールし、新技術・新工法の連携や実用化に向けた情報発信を強化

③ 県境を越えた公設試による連携の強化

- 自動車部材等の加工技術の高度化を目的に、各県公設試による広域連携での研究開発を推進

戦略Ⅳ 人材の育成・定着・確保

産学官が連携し、高度化・多様化する自動車産業において求められる知識や技能を有する人材の育成・定着を促進するとともに、東北全体で安定した人材を確保。

① 就学段階からの高度ものづくり人材育成

- 大学や高等専門学校等による人材育成及び中高生等を対象としたものづくり教育の推進
- 各種のロボットコンテスト等を通じた高度ものづくり人材育成

② 企業ニーズに応じた人材育成・確保・定着

- 各県人材育成プログラムの情報共有
- 自動車メーカーやサプライヤー等と連携した人材育成
- 行政担当職員を対象とした研修会の開催

③ 域外への人材流出を防ぎ、東北全体での安定した人材確保

- 各県の奨学金返還支援制度等の活用